

be English Logic and Expression II Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 1 Future Plans

| | |
|-------------|--|
| 単元目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・時制を正しく用いて表現することができる。 ・将来の夢について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢が見られる。 |
|-------------|--|

| | | 話す (やり取り) | 話す (発表) | 書く |
|---------------|-----------|--|---|--|
| 知識・技能 | 目標 | <知識> 時制の意味や働きについて理解している。(TASK-A/D) <技能> 時制を用いて、興味のあることや将来の夢について、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A/D) | <知識> 時制の意味や働きについて理解している。(TASK-C) <技能> 時制を用いて、最近のことについて、話す技能を身につけている。(TASK-C) | <知識> 時制の意味や働きについて理解している。(TASK-B) <技能> 時制を用いて、10年後の自分について、書く技能を身につけている。(WRITE) |
| | a | 時制を適切に用いて、興味のあることや将来の夢について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。 | 時制の表現を適切に用いて、最近のことについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。 | 時制を用いて、10年後の自分について、ほぼ正しい英語で書くことができる。 |
| | b | 時制を用いて、興味のあることや将来の夢について、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。 | 時制の表現を適切に用いて、最近のことについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。 | 時制を用いて、10年後の自分について、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。 |
| | c | 助けがあれば、時制を用いて、興味のあることや将来の夢について、何とか英語で伝え合うことができる。 | 助けがあれば、時制の表現を用いて、最近のことについて、何とか英語で話すことができる。 | 助けがあれば、時制を用いて、10年後の自分について、何とか書くことができる。 |
| 思考・判断・表現 | 目標 | 興味のあることや将来の夢についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-A/D) (SHARE) | 最近のことについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(TASK-C) | 10年後の自分についての考えを、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE) |
| | a | 興味のあることや将来の夢についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。 | 最近のことについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。 | 10年後の自分についての考えを、論理的に詳しく書くことができる。 |
| | b | 興味のあることや将来の夢についての情報を、話して伝え合うことができる。 | 最近のことについての情報を、話すことができる。 | 10年後の自分についての考えを、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。 |
| | c | 助けがあれば、興味のあることや将来の夢についての情報を、何とか話して伝え合うことができる。 | 助けがあれば、最近のことについての情報を、話すことができる。 | 助けがあれば、10年後の自分についての考えを、何とか書くことができる。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 目標 | 将来の夢についての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE) | 将来の夢についての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE) | 10年後の自分についての考えを、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE) |
| | a | 将来の夢についての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。 | 将来の夢についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。 | 10年後の自分についての考えを、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。 |
| | b | 将来の夢についての情報を、伝え合う姿勢が見られる。 | 将来の夢についての情報を、話そうとする姿勢が見られる。 | 10年後の自分についての考えを、書こうとする態度が見られる。 |
| | c | 助けがあれば、将来の夢についての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。 | 助けがあれば、将来の夢についての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。 | 助けがあれば、10年後の自分についての考えを、何とか書こうとする態度が見られる。 |

be English Logic and Expression II Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 2 Free Time at Home

| | |
|-------------|--|
| 単元目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・名詞句や名詞節を正しく用いて表現することができる。 ・家で時間の過ごし方について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。 |
|-------------|--|

| | | 話す（やり取り） | 話す（発表） | 書く |
|---------------|-----------|---|---|---|
| 知識・技能 | 目標 | <知識> 不定詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A/C) <技能> 不定詞を用いて、家で時間の過ごし方や楽しい予定について、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A/C) | <知識> 動名詞の意味や働きについて理解している。(TASK-B) <技能> 動名詞を用いて、自分の趣味について、話す技能を身につけている。(TASK-B) | <知識> 名詞節の意味や働きについて理解している。(TASK-D) <技能> 名詞句や名詞節を用いて、家で時間の過ごし方について、書く技能を身につけている。(TASK-D) |
| | a | 不定詞を適切に用いて、家で時間の過ごし方や楽しい予定について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。 | 動名詞の表現を適切に用いて、自分の趣味について、ほぼ正しい英語で話すことができる。 | 名詞節を用いて、家で時間の過ごし方について、ほぼ正しい英語で書くことができる。 |
| | b | 不定詞を用いて、家で時間の過ごし方や楽しい予定について、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。 | 動名詞の表現を適切に用いて、自分の趣味について、ほぼ正しい英語で話すことができる。 | 名詞節を用いて、家で時間の過ごし方について、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。 |
| | c | 助けがあれば、不定詞を用いて、家で時間の過ごし方や楽しい予定について、何とか英語で伝え合うことができる。 | 助けがあれば、動名詞の表現を用いて、自分の趣味について、何とか英語で話すことができる。 | 助けがあれば、名詞節を用いて、家で時間の過ごし方について、何とか書くことができる。 |
| 思考・判断・表現 | 目標 | 家で時間の過ごし方や楽しい予定についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-A/C)(SHARE) | 自分の趣味についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(TASK-B) | 家で時間の過ごし方についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。(TASK-D)(WRITE) |
| | a | 家で時間の過ごし方や楽しい予定についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。 | 自分の趣味についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。 | 家で時間の過ごし方についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。 |
| | b | 家で時間の過ごし方や楽しい予定についての情報を、話して伝え合うことができる。 | 自分の趣味についての情報を、話すことができる。 | 家で時間の過ごし方についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。 |
| | c | 助けがあれば、家で時間の過ごし方や楽しい予定についての情報を、何とか話して伝え合うことができる。 | 助けがあれば、自分の趣味についての情報を、話すことができる。 | 助けがあれば、家で時間の過ごし方についての情報を、何とか書くことができる。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 目標 | 家で時間の過ごし方についての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE) | 家で時間の過ごし方についての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE) | 家で時間の過ごし方についての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE) |
| | a | 家で時間の過ごし方についての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。 | 家で時間の過ごし方についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。 | 家で時間の過ごし方についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。 |
| | b | 家で時間の過ごし方についての情報を、伝え合う姿勢が見られる。 | 家で時間の過ごし方についての情報を、話そうとする姿勢が見られる。 | 家で時間の過ごし方についての情報を、書こうとする態度が見られる。 |
| | c | 助けがあれば、家で時間の過ごし方についての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。 | 助けがあれば、家で時間の過ごし方についての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。 | 助けがあれば、家で時間の過ごし方についての情報を、何とか書こうとする態度が見られる。 |

be English Logic and Expression II Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 3 Student Life

| | |
|-------------|---|
| 単元目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・助動詞を正しく用いて表現することができる。 ・学校生活について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。 |
|-------------|---|

| | | 話す (やり取り) | 話す (発表) | 書く |
|---------------|-----------|--|---|---|
| 知識・技能 | 目標 | <知識> 助動詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A/B) <技能> 助動詞を用いて、周辺の噂や今週の宿題について、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A/B) | <知識> 助動詞の意味や働きについて理解している。(CHECK-B) <技能> 助動詞を用いて、自信のあることについて、話す技能を身につけている。(SHARE) | <知識> 助動詞の意味や働きについて理解している。(TASK-D) <技能> 助動詞を用いて、後悔していることについて、書く技能を身につけている。(WRITE) |
| | a | 助動詞を適切に用いて、周辺の噂や今週の宿題について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。 | 助動詞の表現を適切に用いて、自信のあることについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。 | 助動詞を用いて、後悔していることについて、ほぼ正しい英語で書くことができる。 |
| | b | 助動詞を用いて、周辺の噂や今週の宿題について、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。 | 助動詞の表現を適切に用いて、自信のあることについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。 | 助動詞を用いて、後悔していることについて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。 |
| | c | 助けがあれば、助動詞を用いて、周辺の噂や今週の宿題について、何とか英語で伝え合うことができる。 | 助けがあれば、助動詞の表現を用いて、自信のあることについて、何とか英語で話すことができる。 | 助けがあれば、助動詞を用いて、後悔していることについて、何とか書くことができる。 |
| 思考・判断・表現 | 目標 | 周辺の噂や今週の宿題についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-A/B) | 自信があることについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE) | 後悔していることについての情報を、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE) |
| | a | 周辺の噂や今週の宿題についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。 | 自信があることについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。 | 後悔していることについての情報を、論理的に詳しく書くことができる。 |
| | b | 周辺の噂や今週の宿題についての情報を、話して伝え合うことができる。 | 自信があることについての情報を、話すことができる。 | 後悔していることについての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。 |
| | c | 助けがあれば、周辺の噂や今週の宿題についての情報を、何とか話して伝え合うことができる。 | 助けがあれば、自信があることについての情報を、話すことができる。 | 助けがあれば、後悔していることについての情報を、何とか書くことができる。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 目標 | 自信があることについての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE) | 自信があることについての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE) | 後悔していることについての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE) |
| | a | 自信があることについての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。 | 自信があることについての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。 | 後悔していることについての情報を、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。 |
| | b | 自信があることについての情報を、伝え合う姿勢が見られる。 | 自信があることについての情報を、話そうとする姿勢が見られる。 | 後悔していることについての情報を、書こうとする態度が見られる。 |
| | c | 助けがあれば、自信があることについての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。 | 助けがあれば、自信があることについての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。 | 助けがあれば、後悔していることについての情報を、何とか書こうとする態度が見られる。 |

be English Logic and Expression II Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 4 What You've Learned through Experience

| | |
|-------------|---|
| 単元目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・形容詞や分詞を正しく用いて表現することができる。 ・体験から学んだことについて話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。 |
|-------------|---|

| | | 話す（やり取り） | 話す（発表） | 書く |
|---------------|-----------|---|--|---|
| 知識・技能 | 目標 | <知識> 形容詞や分詞の意味や働きについて理解している。(SHARE) <技能> 形容詞や分詞を用いて、旅行の体験について、伝え合う技能を身につけている。(SHARE) | <知識> 形容詞や分詞の意味や働きについて理解している。(TASK-B) <技能> 形容詞や分詞を用いて、旅行の体験について、話す技能を身につけている。(SHARE) | <知識> 形容詞や分詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A/D) <技能> 形容詞や分詞を用いて、印象に残った行事について、書く技能を身につけている。(WRITE) |
| | a | 形容詞や分詞を適切に用いて、旅行の体験について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。 | 形容詞や分詞の表現を適切に用いて、旅行の体験について、ほぼ正しい英語で話すことができる。 | 形容詞や分詞を用いて、印象に残った行事について、ほぼ正しい英語で書くことができる。 |
| | b | 形容詞や分詞を用いて、旅行の体験について、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。 | 形容詞や分詞の表現を適切に用いて、旅行の体験について、ほぼ正しい英語で話すことができる。 | 形容詞や分詞を用いて、印象に残った行事について、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。 |
| | c | 助けがあれば、形容詞や分詞を用いて、旅行の体験について、何とか英語で伝え合うことができる。 | 助けがあれば、形容詞や分詞の表現を用いて、旅行の体験とについて、何とか英語で話すことができる。 | 助けがあれば、形容詞や分詞を用いて、印象に残った行事について、何とか書くことができる。 |
| 思考・判断・表現 | 目標 | 旅行を通して学んだことについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(SHARE) | 旅行を通して学んだことについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE) | 印象に残った行事についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE) |
| | a | 旅行を通して学んだことについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。 | 旅行を通して学んだことについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。 | 印象に残った行事についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。 |
| | b | 旅行を通して学んだことについての情報を、話して伝え合うことができる。 | 旅行を通して学んだことについての情報を、話すことができる。 | 印象に残った行事についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。 |
| | c | 助けがあれば、旅行を通して学んだことについての情報を、何とか話して伝え合うことができる。 | 助けがあれば、旅行を通して学んだことについての情報を、話すことができる。 | 助けがあれば、印象に残った行事についての情報を、何とか書くことができる。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 目標 | 旅行を通して学んだことについての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE) | 旅行を通して学んだことについての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE) | 印象に残った行事についての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE) |
| | a | 旅行を通して学んだことについての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。 | 旅行を通して学んだことについての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。 | 印象に残った行事についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする姿勢が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。 |
| | b | 旅行を通して学んだことについての情報を、伝え合う姿勢が見られる。 | 旅行を通して学んだことについての情報を、話そうとする姿勢が見られる。 | 印象に残った行事についての情報を、書こうとする姿勢が見られる。 |
| | c | 助けがあれば、旅行を通して学んだことについての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。 | 助けがあれば、旅行を通して学んだことについての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。 | 助けがあれば、印象に残った行事についての情報を、何とか書こうとする姿勢が見られる。 |

be English Logic and Expression II Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 5 Modern Conveniences

| | |
|-------------|--|
| 単元目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・形容詞句を正しく用いて表現することができる。 ・現代社会の利便性について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。 |
|-------------|--|

| | | 話す (やり取り) | 話す (発表) | 書く |
|---------------|-----------|--|---|---|
| 知識・技能 | 目標 | <知識> 形容詞句の意味や働きについて理解している。(TASK-A/B) <技能> 形容詞句を用いて、スマートフォンの修理や動画の描写について、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A/B) | <知識> 形容詞句の意味や働きについて理解している。(TASK-D) <技能> 形容詞句を用いて、今あるデバイスが将来どうなるかについて、話す技能を身につけている。(TASK-D) | <知識> 形容詞句の意味や働きについて理解している。(TASK-C) <技能> 形容詞句を用いて、よく使うオンラインサービスについて、書く技能を身につけている。(TASK-C) |
| | a | 形容詞句を適切に用いて、スマートフォンの修理や動画の描写について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。 | a 形容詞句の表現を適切に用いて、今あるデバイスが将来どうなるかについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。 | a 形容詞句を用いて、よく使うオンラインサービスについて、ほぼ正しい英語で書くことができる。 |
| | b | 形容詞句を用いて、スマートフォンの修理や動画の描写について、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。 | b 形容詞句の表現を適切に用いて、今あるデバイスが将来どうなるかについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。 | b 形容詞句を用いて、よく使うオンラインサービスについて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。 |
| | c | 助けがあれば、形容詞句を用いて、スマートフォンの修理や動画の描写について、何とか英語で伝え合うことができる。 | c 助けがあれば、形容詞句の表現を用いて、今あるデバイスが将来どうなるかについて、何とか英語で話すことができる。 | c 助けがあれば、形容詞句を用いて、よく使うオンラインサービスについて、何とか書くことができる。 |
| 思考・判断・表現 | 目標 | スマートデバイスについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(SHARE) | スマートデバイスについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE) | 便利なデバイスについての情報を、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE) |
| | a | スマートデバイスについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。 | a スマートデバイスについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。 | a 便利なデバイスについての情報を、論理的に詳しく書くことができる。 |
| | b | スマートデバイスについての情報を、話して伝え合うことができる。 | b スマートデバイスについての情報を、話すことができる。 | b 便利なデバイスについての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。 |
| | c | 助けがあれば、スマートデバイスについての情報を、何とか話して伝え合うことができる。 | c 助けがあれば、スマートデバイスについての情報を、話すことができる。 | c 助けがあれば、便利なデバイスについての情報を、何とか書くことができる。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 目標 | スマートデバイスについての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE) | スマートデバイスについての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE) | 便利なデバイスについての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE) |
| | a | スマートデバイスについての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。 | a スマートデバイスについての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。 | a 便利なデバイスについての情報を、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。 |
| | b | スマートデバイスについての情報を、伝え合う姿勢が見られる。 | b スマートデバイスについての情報を、話そうとする姿勢が見られる。 | b 便利なデバイスについての情報を、書こうとする態度が見られる。 |
| | c | 助けがあれば、スマートデバイスについての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。 | c 助けがあれば、スマートデバイスについての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。 | c 助けがあれば、便利なデバイスについての情報を、何とか書こうとする態度が見られる。 |

be English Logic and Expression II Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 6 The Information Society

| | |
|-------------|--|
| 単元目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞や関係副詞を正しく用いて表現することができる。 ・情報社会について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。 |
|-------------|--|

| | | 話す (やり取り) | 話す (発表) | 書く |
|---------------|-----------|---|--|--|
| 知識・技能 | 目標 | <知識> 関係代名詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A/B) <技能> 関係代名詞を用いて、好きなアーティストや興味のある話題について、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A/B) | <知識> 関係詞の意味や働きについて理解している。(SHARE) <技能> 関係詞を用いて、フェイクニュースについて、話す技能を身につけている。(SHARE) | <知識> 関係副詞の意味や働きについて理解している。(CHECK-D) <技能> 関係副詞を用いて、印象深いニュースについて、書く技能を身につけている。(WRITE) |
| | a | 関係代名詞を適切に用いて、好きなアーティストや興味のある話題について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。 | a 関係詞の表現を適切に用いて、フェイクニュースについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。 | a 関係副詞を用いて、印象深いニュースについて、ほぼ正しい英語で書くことができる。 |
| | b | 関係代名詞を用いて、好きなアーティストや興味のある話題について、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。 | b 関係詞の表現を適切に用いて、フェイクニュースについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。 | b 関係副詞を用いて、印象深いニュースについて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。 |
| | c | 助けがあれば、関係代名詞を用いて、好きなアーティストや興味のある話題について、何とか英語で伝え合うことができる。 | c 助けがあれば、関係詞の表現を用いて、フェイクニュースについて、何とか英語で話すことができる。 | c 助けがあれば、関係副詞を用いて、印象深いニュースについて、何とか書くことができる。 |
| 思考・判断・表現 | 目標 | 好きなアーティストや興味のある話題についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-A/B) | フェイクニュースについての情報を、論理的に詳しく話することができる。(SHARE) | 印象深いニュースについての情報を、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE) |
| | a | 好きなアーティストや興味のある話題についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。 | a フェイクニュースについての情報を、論理的に詳しく話することができる。 | a 印象深いニュースについての情報を、論理的に詳しく書くことができる。 |
| | b | 好きなアーティストや興味のある話題についての情報を、話して伝え合うことができる。 | b フェイクニュースについての情報を、話すことができる。 | b 印象深いニュースについての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。 |
| | c | 助けがあれば、好きなアーティストや興味のある話題についての情報を、何とか話して伝え合うことができる。 | c 助けがあれば、フェイクニュースについての情報を、話すことができる。 | c 助けがあれば、印象深いニュースについての情報を、何とか書くことができる。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 目標 | フェイクニュースについての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE) | フェイクニュースについての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE) | 印象深いニュースについての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE) |
| | a | フェイクニュースについての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。 | a フェイクニュースについての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。 | a 印象深いニュースについての情報を、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする姿勢が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。 |
| | b | フェイクニュースについての情報を、伝え合う姿勢が見られる。 | b フェイクニュースについての情報を、話そうとする姿勢が見られる。 | b 印象深いニュースについての情報を、書こうとする姿勢が見られる。 |
| | c | 助けがあれば、フェイクニュースについての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。 | c 助けがあれば、フェイクニュースについての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。 | c 助けがあれば、印象深いニュースについての情報を、何とか書こうとする姿勢が見られる。 |

be English Logic and Expression II Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 7 Language and Thought

| | |
|-------------|--|
| 単元目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・副詞を正しく用いて表現することができる。 ・ことばと思考について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。 |
|-------------|--|

| | | 話す（やり取り） | 話す（発表） | 書く |
|---------------|-----------|--|---|--|
| 知識・技能 | 目標 | <知識> 副詞の意味や働きについて理解している。(TASK-B) <技能> 副詞を用いて、日本語と英語の表現の違いについて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-B) | <知識> 副詞の意味や働きについて理解している。(TASK-C/D) <技能> 副詞を用いて、外国で経験しそうな問題や英語でのやりとりの経験について、話す技能を身につけている。(TASK-C/D) | <知識> 副詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A) <技能> 副詞を用いて、英語の公用語化について、書く技能を身につけている。(WRITE) |
| | a | 副詞を適切に用いて、日本語と英語の表現の違いについて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。 | 副詞の表現を適切に用いて、外国で経験しそうな問題や英語でのやりとりの経験について、ほぼ正しい英語で話すことができる。 | 副詞を用いて、英語の公用語化について、ほぼ正しい英語で書くことができる。 |
| | b | 副詞を用いて、日本語と英語の表現の違いについて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。 | 副詞の表現を適切に用いて、外国で経験しそうな問題や英語でのやりとりの経験について、ほぼ正しい英語で話すことができる。 | 副詞を用いて、英語の公用語化について、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。 |
| | c | 助けがあれば、副詞を用いて、日本語と英語の表現の違いについて、何とか英語で伝え合うことができる。 | 助けがあれば、副詞の表現を用いて、外国で経験しそうな問題や英語でのやりとりの経験について、何とか英語で話すことができる。 | 助けがあれば、副詞を用いて、英語の公用語化について、何とか書くことができる。 |
| 思考・判断・表現 | 目標 | 日本語と英語の表現の違いについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-B) | 英語を学ぶ利点についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE) | 英語の公用語化についての考えを、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE) |
| | a | 日本語と英語の表現の違いについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。 | 英語を学ぶ利点についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。 | 英語の公用語化についての考えを、論理的に詳しく書くことができる。 |
| | b | 日本語と英語の表現の違いについての情報を、話して伝え合うことができる。 | 英語を学ぶ利点についての情報を、話すことができる。 | 英語の公用語化についての考えを、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。 |
| | c | 助けがあれば、日本語と英語の表現の違いについての情報を、何とか話して伝え合うことができる。 | 助けがあれば、英語を学ぶ利点についての情報を、話すことができる。 | 助けがあれば、英語の公用語化についての考えを、何とか書くことができる。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 目標 | 日本語と英語の表現の違いについての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-B) | 英語を学ぶ利点についての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE) | 英語の公用語化についての考えを、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE) |
| | a | 日本語と英語の表現の違いについての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。 | 英語を学ぶ利点についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。 | 英語の公用語化についての考えを、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。 |
| | b | 日本語と英語の表現の違いについての情報を、伝え合う姿勢が見られる。 | 英語を学ぶ利点についての情報を、話そうとする姿勢が見られる。 | 英語の公用語化についての考えを、書こうとする態度が見られる。 |
| | c | 助けがあれば、日本語と英語の表現の違いについての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。 | 助けがあれば、英語を学ぶ利点についての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。 | 助けがあれば、英語の公用語化についての考えを、何とか書こうとする態度が見られる。 |

be English Logic and Expression II Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 8 Emotions and the Workings of the Mind

| | |
|-------------|---|
| 単元目標 | <ul style="list-style-type: none"> 副詞句を正しく用いて表現することができる。 感情と心のはたらきについて話したり書いたりすることができる。 意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。 |
|-------------|---|

| | | 話す（やり取り） | 話す（発表） | 書く |
|---------------|-----------|--|---|---|
| 知識・技能 | 目標 | <知識> 副詞句の意味や働きについて理解している。(TASK-A) <技能> 副詞句を用いて、幸せのために何が必要かについて、伝え合う技能を身につけている。(SHARE) | <知識> 副詞句の意味や働きについて理解している。(TASK-B) <技能> 副詞句を用いて、幸せになるためのアドバイスについて、話す技能を身につけている。(TASK-B) | <知識> 副詞句の意味や働きについて理解している。(TASK-C/D) <技能> 副詞句を用いて、幸せな経験などについて、書く技能を身につけている。(TASK-C/D) |
| | a | 副詞句を適切に用いて、幸せのために何が必要かについて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。 | 副詞句の表現を適切に用いて、幸せになるためのアドバイスについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。 | 副詞句を用いて、幸せな経験などについて、ほぼ正しい英語で書くことができる。 |
| | b | 副詞句を用いて、幸せのために何が必要かについて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。 | 副詞句の表現を適切に用いて、幸せになるためのアドバイスについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。 | 副詞句を用いて、幸せな経験などについて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。 |
| | c | 助けがあれば、副詞句を用いて、幸せのために何が必要かについて、何とか英語で伝え合うことができる。 | 助けがあれば、副詞句の表現を用いて、幸せになるためのアドバイスについて、何とか英語で話すことができる。 | 助けがあれば、副詞句を用いて、幸せな経験などについて、何とか書くことができる。 |
| 思考・判断・表現 | 目標 | 幸せのために何が必要かについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(SHARE) | 幸せを感じる時についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE) | 周りの人の幸せについての経験を、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE) |
| | a | 幸せのために何が必要かについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。 | 幸せを感じる時についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。 | 周りの人の幸せについての経験を、論理的に詳しく書くことができる。 |
| | b | 幸せのために何が必要かについての情報を、話して伝え合うことができる。 | 幸せを感じる時についての情報を、話すことができる。 | 周りの人の幸せについての経験を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。 |
| | c | 助けがあれば、幸せのために何が必要かについての情報を、何とか話して伝え合うことができる。 | 助けがあれば、幸せを感じる時についての情報を、話すことができる。 | 助けがあれば、周りの人の幸せについての経験を、何とか書くことができる。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 目標 | 幸せのために何が必要かについての情報を、論理的に詳しく伝えようとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE) | 幸せを感じる時についての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE) | 周りの人の幸せについての経験を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE) |
| | a | 幸せのために何が必要かについての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。 | 幸せを感じる時についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。 | 周りの人の幸せについての経験を、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。 |
| | b | 幸せのために何が必要かについての情報を、伝え合う姿勢が見られる。 | 幸せを感じる時についての情報を、話そうとする姿勢が見られる。 | 周りの人の幸せについての経験を、書こうとする態度が見られる。 |
| | c | 助けがあれば、幸せのために何が必要かについての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。 | 助けがあれば、幸せを感じる時についての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。 | 助けがあれば、周りの人の幸せについての経験を、何とか書こうとする態度が見られる。 |

be English Logic and Expression II Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 9 What Exactly Does Leadership Mean?

| | |
|-------------|--|
| 単元目標 | <ul style="list-style-type: none"> 副詞節を正しく用いて表現することができる。 リーダーシップの意味について話したり書いたりすることができる。 意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。 |
|-------------|--|

| | | 話す（やり取り） | 話す（発表） | 書く |
|---------------|-----------|--|--|---|
| 知識・技能 | 目標 | <知識> 副詞節の意味や働きについて理解している。(TASK-A/C) <技能> 副詞節を用いて、リーダーに関する意見について、伝え合う技能を身につけている。(TASK-C) | <知識> 副詞節の意味や働きについて理解している。(TASK-D) <技能> 副詞節を用いて、与えられた設定について、話す技能を身につけている。(SHARE) | <知識> 副詞節の意味や働きについて理解している。(TASK-B/C) <技能> 副詞節を用いて、リーダーの資質について、書く技能を身につけている。(TASK-B) |
| | a | 副詞節を適切に用いて、リーダーに関する意見について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。 | 副詞節の表現を適切に用いて、与えられた設定について、ほぼ正しい英語で話すことができる。 | 副詞節を用いて、リーダーの資質について、ほぼ正しい英語で書くことができる。 |
| | b | 副詞節を用いて、リーダーに関する意見について、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。 | 副詞節の表現を適切に用いて、与えられた設定について、ほぼ正しい英語で話すことができる。 | 副詞節を用いて、リーダーの資質について、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。 |
| | c | 助けがあれば、副詞節を用いて、リーダーに関する意見について、何とか英語で伝え合うことができる。 | 助けがあれば、副詞節の表現を用いて、与えられた設定について、何とか英語で話すことができる。 | 助けがあれば、副詞節を用いて、リーダーの資質について、何とか書くことができる。 |
| 思考・判断・表現 | 目標 | 与えられた設定についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(SHARE) | 与えられた設定についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE) | リーダーの資質についての考えを、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE) |
| | a | 与えられた設定についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。 | 与えられた設定についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。 | リーダーの資質についての考えを、論理的に詳しく書くことができる。 |
| | b | 与えられた設定についての情報を、話して伝え合うことができる。 | 与えられた設定についての情報を、話すことができる。 | リーダーの資質についての考えを、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。 |
| | c | 助けがあれば、与えられた設定についての情報を、何とか話して伝え合うことができる。 | 助けがあれば、与えられた設定についての情報を、話すことができる。 | 助けがあれば、リーダーの資質についての考えを、何とか書くことができる。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 目標 | 与えられた設定についての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE) | 与えられた設定についての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE) | リーダーの資質についての考えを、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE) |
| | a | 与えられた設定についての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。 | 与えられた設定についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。 | リーダーの資質についての考えを、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。 |
| | b | 与えられた設定についての情報を、伝え合う姿勢が見られる。 | 与えられた設定についての情報を、話そうとする姿勢が見られる。 | リーダーの資質についての考えを、書こうとする態度が見られる。 |
| | c | 助けがあれば、与えられた設定についての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。 | 助けがあれば、与えられた設定についての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。 | 助けがあれば、リーダーの資質についての考えを、何とか書こうとする態度が見られる。 |

be English Logic and Expression II Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 10 Introducing Japan

| | |
|-------------|--|
| 単元目標 | <ul style="list-style-type: none"> 比較表現を正しく用いて表現することができる。 日本を紹介することについて話したり書いたりすることができる。 意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。 |
|-------------|--|

| | | 話す (やり取り) | 話す (発表) | 書く |
|---------------|-----------|---|--|--|
| 知識・技能 | 目標 | <知識> 比較表現の意味や働きについて理解している。(TASK-A/B/C/D) <技能> 比較表現を用いて、和食や日本の観光地について、伝え合う技能を身につけている。(TASK-C/D) | <知識> 比較表現の意味や働きについて理解している。(SHARE) <技能> 比較表現を用いて、2つの目的地のどちらがいいかについて、話す技能を身につけている。(SHARE) | <知識> 比較表現の意味や働きについて理解している。(CHECK-D) <技能> 比較表現を用いて、外国人旅行者におすすめの活動について、書く技能を身につけている。(WRITE) |
| | a | 比較表現を適切に用いて、和食や日本の観光地について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。 | a 比較表現の表現を適切に用いて、2つの目的地のどちらがいいかについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。 | a 比較表現を用いて、外国人旅行者におすすめの活動について、ほぼ正しい英語で書くことができる。 |
| | b | 比較表現を用いて、和食や日本の観光地について、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。 | b 比較表現の表現を適切に用いて、2つの目的地のどちらがいいかについて、ほぼ正しい英語で話すことができる。 | b 比較表現を用いて、外国人旅行者におすすめの活動について、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。 |
| | c | 助けがあれば、比較表現を用いて、和食や日本の観光地について、何とか英語で伝え合うことができる。 | c 助けがあれば、比較表現の表現を用いて、2つの目的地のどちらがいいかについて、何とか英語で話すことができる。 | c 助けがあれば、比較表現を用いて、外国人旅行者におすすめの活動について、何とか書くことができる。 |
| 思考・判断・表現 | 目標 | 2つの目的地のどちらがいいかについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(SHARE) | 目標 2つの目的地のどちらがいいかについての情報を、論理的に詳しく話することができる。(SHARE) | 目標 外国人旅行者におすすめの活動についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE) |
| | a | 2つの目的地のどちらがいいかについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。 | a 2つの目的地のどちらがいいかについての情報を、論理的に詳しく話することができる。 | a 外国人旅行者におすすめの活動についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。 |
| | b | 2つの目的地のどちらがいいかについての情報を、話して伝え合うことができる。 | b 2つの目的地のどちらがいいかについての情報を、話すことができる。 | b 外国人旅行者におすすめの活動についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。 |
| | c | 助けがあれば、2つの目的地のどちらがいいかについての情報を、何とか話して伝え合うことができる。 | c 助けがあれば、2つの目的地のどちらがいいかについての情報を、話すことができる。 | c 助けがあれば、外国人旅行者におすすめの活動についての情報を、何とか書くことができる。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 目標 | 2つの目的地のどちらがいいかについての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE) | 目標 2つの目的地のどちらがいいかについての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE) | 目標 外国人旅行者におすすめの活動についての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE) |
| | a | 2つの目的地のどちらがいいかについての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。 | a 2つの目的地のどちらがいいかについての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。 | a 外国人旅行者におすすめの活動についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。 |
| | b | 2つの目的地のどちらがいいかについての情報を、伝え合う姿勢が見られる。 | b 2つの目的地のどちらがいいかについての情報を、話そうとする姿勢が見られる。 | b 外国人旅行者におすすめの活動についての情報を、書こうとする態度が見られる。 |
| | c | 助けがあれば、2つの目的地のどちらがいいかについての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。 | c 助けがあれば、2つの目的地のどちらがいいかについての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。 | c 助けがあれば、外国人旅行者におすすめの活動についての情報を、何とか書こうとする態度が見られる。 |

be English Logic and Expression II Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 11 Making Innovation Happen

| | |
|-------------|--|
| 単元目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・仮定法を正しく用いて表現することができる。 ・イノベーションについて話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。 |
|-------------|--|

| | | 話す (やり取り) | 話す (発表) | 書く |
|---------------|-----------|--|-----------|--|
| 知識・技能 | 目標 | <知識> 仮定法の意味や働きについて理解している。(TASK-A) <技能> 仮定法を用いて、「もし校長なら」についての考えを、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A) | 目標 | <知識> 仮定法の意味や働きについて理解している。(TASK-B/D) <技能> 仮定法を用いて、近い将来、社会で起こりうることに、書く技能を身につけている。(TASK-D) |
| | a | 仮定法を適切に用いて、「もし校長なら」についての考えを、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。 | a | 仮定法を用いて、近い将来、社会で起こりうることに、ほぼ正しい英語で書くことができる。 |
| | b | 仮定法を用いて、「もし校長なら」についての考えを、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。 | b | 仮定法を用いて、近い将来、社会で起こりうることに、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。 |
| | c | 助けがあれば、仮定法を用いて、「もし校長なら」についての考えを、何とか英語で伝え合うことができる。 | c | 助けがあれば、仮定法の表現を用いて、与えられたトピックについて、何とか英語で話すことができる。 |
| 思考・判断・表現 | 目標 | 「もし校長なら」についての考えを、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-A) | 目標 | 世界に役立つ革新技術についての考えを、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE) |
| | a | 「もし校長なら」についての考えを、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。 | a | 世界に役立つ革新技術についての考えを、論理的に詳しく書くことができる。 |
| | b | 「もし校長なら」についての考えを、話して伝え合うことができる。 | b | 世界に役立つ革新技術についての考えを、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。 |
| | c | 助けがあれば、「もし校長なら」についての考えを、何とか話して伝え合うことができる。 | c | 助けがあれば、世界に役立つ革新技術についての考えを、何とか書くことができる。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 目標 | 「もし校長なら」についての考えを、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A) | 目標 | 世界に役立つ革新技術についての考えを、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE) |
| | a | 「もし校長なら」についての考えを、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。 | a | 世界に役立つ革新技術についての考えを、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。 |
| | b | 「もし校長なら」についての考えを、伝え合う姿勢が見られる。 | b | 世界に役立つ革新技術についての考えを、書こうとする態度が見られる。 |
| | c | 助けがあれば、「もし校長なら」についての考えを、何とか伝え合う姿勢が見られる。 | c | 助けがあれば、世界に役立つ革新技術についての考えを、何とか書こうとする態度が見られる。 |

be English Logic and Expression II Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラスの状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 12 Embracing Diversity in Society

| | |
|-------------|---|
| 単元目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・that節や語法などを正しく用いて表現することができる。 ・多様性を受け入れる社会について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。 |
|-------------|---|

| | | 話す (やり取り) | 話す (発表) | 書く |
|---------------|-----------|--|---|--|
| 知識・技能 | 目標 | <知識> that節や語法などの意味や働きについて理解している。(TASK-A/B/C) <技能> that節や語法などを用いて、差別に対してできることや共生社会をつくる方法について、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A/B) | <知識> that節や語法などの意味や働きについて理解している。(TASK-D) <技能> that節や語法などを用いて、多様性について、話す技能を身につけている。(TASK-D) | <知識> that節や語法などの意味や働きについて理解している。(CHECK-D) <技能> that節や語法などを用いて、差別について、書く技能を身につけている。(WRITE) |
| | a | that節や語法などを適切に用いて、差別に対してできることや共生社会をつくる方法について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。 | that節や語法などの表現を適切に用いて、多様性について、ほぼ正しい英語で話すことができる。 | that節や語法などを用いて、差別について、ほぼ正しい英語で書くことができる。 |
| | b | that節や語法などを用いて、差別に対してできることや共生社会をつくる方法について、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。 | that節や語法などの表現を適切に用いて、多様性について、ほぼ正しい英語で話すことができる。 | that節や語法などを用いて、差別について、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。 |
| | c | 助けがあれば、that節や語法などを用いて、差別に対してできることや共生社会をつくる方法について、何とか英語で伝え合うことができる。 | 助けがあれば、that節や語法などの表現を用いて、多様性について、何とか英語で話すことができる。 | 助けがあれば、that節や語法などを用いて差別について、何とか書くことができる。 |
| 思考・判断・表現 | 目標 | 差別に対してできることや共生社会をつくる方法について、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(TASK-A/B) | 自由で公平な社会について、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE) | 差別についての考えを、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE) |
| | a | 差別に対してできることや共生社会をつくる方法について、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。 | 自由で公平な社会について、論理的に詳しく話すことができる。 | 差別についての考えを、論理的に詳しく書くことができる。 |
| | b | 差別に対してできることや共生社会をつくる方法について、話して伝え合うことができる。 | 自由で公平な社会について、話すことができる。 | 差別についての考えを、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。 |
| | c | 助けがあれば、差別に対してできることや共生社会をつくる方法について、何とか話して伝え合うことができる。 | 助けがあれば、自由で公平な社会について、話すことができる。 | 助けがあれば、差別についての考えを、何とか書くことができる。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 目標 | 差別に対してできることや共生社会をつくる方法について、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A/B) | 自由で公平な社会について、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE) | 差別についての考えを、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE) |
| | a | 差別に対してできることや共生社会をつくる方法について、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。 | 自由で公平な社会について、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。 | 差別についての考えを、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。 |
| | b | 差別に対してできることや共生社会をつくる方法について、伝え合う姿勢が見られる。 | 自由で公平な社会について、話そうとする姿勢が見られる。 | 差別についての考えを、書こうとする態度が見られる。 |
| | c | 助けがあれば、差別に対してできることや共生社会をつくる方法について、何とか伝え合う姿勢が見られる。 | 助けがあれば、自由で公平な社会について、何とか話そうとする姿勢が見られる。 | 助けがあれば、差別についての考えを、何とか書こうとする態度が見られる。 |

be English Logic and Expression II Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 13 Tourism and Japanese Society

| | |
|-------------|---|
| 単元目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・存在や変化を表す表現を正しく用いて表現することができる。 ・観光と日本社会について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。 |
|-------------|---|

| | | 話す (やり取り) | 話す (発表) | 書く |
|---------------|-----------|--|---|---|
| 知識・技能 | 目標 | <知識> 存在や変化を表す表現の意味や働きについて理解している。(TASK-C) <技能> 存在や変化を表す表現を用いて、外国人旅行者向けのお知らせについて、伝え合う技能を身につけている。(SHARE) | <知識> 存在や変化を表す表現の意味や働きについて理解している。(TASK-B) <技能> 存在や変化を表す表現を用いて、観光地の人気の理由について、話す技能を身につけている。(TASK-B) | <知識> 存在や変化を表す表現の意味や働きについて理解している。(TASK-A/D) <技能> 存在や変化を表す表現を用いて、観光地の説明や歴史について、書く技能を身につけている。(TASK-A/D) |
| | a | 存在や変化を表す表現を適切に用いて、外国人旅行者向けのお知らせについて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。 | a 存在や変化を表す表現の表現を適切に用いて、観光地の人気の理由について、ほぼ正しい英語で話すことができる。 | a 存在や変化を表す表現を用いて、観光地の説明や歴史について、ほぼ正しい英語で書くことができる。 |
| | b | 存在や変化を表す表現を用いて、外国人旅行者向けのお知らせについて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。 | b 存在や変化を表す表現の表現を適切に用いて、観光地の人気の理由について、ほぼ正しい英語で話すことができる。 | b 存在や変化を表す表現を用いて、観光地の説明や歴史について、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。 |
| | c | 助けがあれば、存在や変化を表す表現を用いて、外国人旅行者向けのお知らせについて、何とか英語で伝え合うことができる。 | c 助けがあれば、存在や変化を表す表現の表現を用いて、観光地の人気の理由について、何とか英語で話すことができる。 | c 助けがあれば、存在や変化を表す表現を用いて、観光地の説明や歴史について、何とか書くことができる。 |
| 思考・判断・表現 | 目標 | 外国人旅行者向けのお知らせについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(SHARE) | 外国人旅行者向けのお知らせについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE) | 日本の旅行を楽しむための情報について、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE) |
| | a | 外国人旅行者向けのお知らせについての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。 | a 外国人旅行者向けのお知らせについての情報を、論理的に詳しく話すことができる。 | a 日本の旅行を楽しむための情報について、論理的に詳しく書くことができる。 |
| | b | 外国人旅行者向けのお知らせについての情報を、話して伝え合うことができる。 | b 外国人旅行者向けのお知らせについての情報を、話すことができる。 | b 日本の旅行を楽しむための情報について、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。 |
| | c | 助けがあれば、外国人旅行者向けのお知らせについての情報を、何とか話して伝え合うことができる。 | c 助けがあれば、外国人旅行者向けのお知らせについての情報を、話すことができる。 | c 助けがあれば、日本の旅行を楽しむための情報について、何とか書くことができる。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 目標 | 外国人旅行者向けのお知らせについての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE) | 外国人旅行者向けのお知らせについての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE) | 日本の旅行を楽しむための情報について、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE) |
| | a | 外国人旅行者向けのお知らせについての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。 | a 外国人旅行者向けのお知らせについての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。 | a 日本の旅行を楽しむための情報について、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。 |
| | b | 外国人旅行者向けのお知らせについての情報を、伝え合う姿勢が見られる。 | b 外国人旅行者向けのお知らせについての情報を、話そうとする姿勢が見られる。 | b 日本の旅行を楽しむための情報について、書こうとする態度が見られる。 |
| | c | 助けがあれば、外国人旅行者向けのお知らせについての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。 | c 助けがあれば、外国人旅行者向けのお知らせについての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。 | c 助けがあれば、日本の旅行を楽しむための情報について、何とか書こうとする態度が見られる。 |

be English Logic and Expression II Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 14 Food and Health

| | |
|-------------|---|
| 単元目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・使役動詞や知覚動詞を正しく用いて表現することができる。 ・食と健康について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。 |
|-------------|---|

| | | 話す（やり取り） | 話す（発表） | 書く |
|---------------|-----------|--|---|--|
| 知識・技能 | 目標 | <知識> 使役動詞や知覚動詞の意味や働きについて理解している。(TASK-A) <技能> 使役動詞や知覚動詞を用いて、朝食を抜くことの影響について、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A) | 目標 <知識> 使役動詞や知覚動詞の意味や働きについて理解している (TASK-C) <技能> 使役動詞や知覚動詞を用いて、けがや病気の症状について、話す技能を身につけている。(TASK-C) | 目標 <知識> 使役動詞や知覚動詞の意味や働きについて理解している。(TASK-B/D) <技能> 使役動詞や知覚動詞を用いて、健康保険や健康習慣に対する意見について、書く技能を身につけている。(TASK-B/D) |
| | a | 使役動詞や知覚動詞を適切に用いて、朝食を抜くことの影響について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。 | a 使役動詞や知覚動詞の表現を適切に用いて、けがや病気の症状について、ほぼ正しい英語で話すことができる。 | a 使役動詞や知覚動詞を用いて、健康保険や健康習慣に対する意見について、ほぼ正しい英語で書くことができる。 |
| | b | 使役動詞や知覚動詞を用いて、朝食を抜くことの影響について、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。 | b 使役動詞や知覚動詞の表現を適切に用いて、けがや病気の症状について、ほぼ正しい英語で話すことができる。 | b 使役動詞や知覚動詞を用いて、健康保険や健康習慣に対する意見について、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。 |
| | c | 助けがあれば、使役動詞や知覚動詞を用いて、朝食を抜くことの影響について、何とか英語で伝え合うことができる。 | c 助けがあれば、使役動詞や知覚動詞の表現を用いて、けがや病気の症状について、何とか英語で話すことができる。 | c 助けがあれば、使役動詞や知覚動詞を用いて、健康保険や健康習慣に対する意見について、何とか書くことができる。 |
| 思考・判断・表現 | 目標 | 健康にいい食事についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(SHARE) | 目標 健康にいい食事についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE) | 目標 健康的な食習慣についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE) |
| | a | 健康にいい食事についての情報を、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。 | a 健康にいい食事についての情報を、論理的に詳しく話すことができる。 | a 健康的な食習慣についての情報を、論理的に詳しく書くことができる。 |
| | b | 健康にいい食事についての情報を、話して伝え合うことができる。 | b 健康にいい食事についての情報を、話すことができる。 | b 健康的な食習慣についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。 |
| | c | 助けがあれば、健康にいい食事についての情報を、何とか話して伝え合うことができる。 | c 助けがあれば、健康にいい食事についての情報を、話すことができる。 | c 助けがあれば、健康的な食習慣についての情報を、何とか書くことができる。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 目標 | 健康にいい食事についての情報を、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE) | 目標 健康にいい食事についての情報を、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE) | 目標 健康的な食習慣についての情報を、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE) |
| | a | 健康にいい食事についての情報を、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。 | a 健康にいい食事についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。 | a 健康的な食習慣についての情報を、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。 |
| | b | 健康にいい食事についての情報を、伝え合う姿勢が見られる。 | b 健康にいい食事についての情報を、話そうとする姿勢が見られる。 | b 健康的な食習慣についての情報を、書こうとする態度が見られる。 |
| | c | 助けがあれば、健康にいい食事についての情報を、何とか伝え合う姿勢が見られる。 | c 助けがあれば、健康にいい食事についての情報を、何とか話そうとする姿勢が見られる。 | c 助けがあれば、健康的な食習慣についての情報を、何とか書こうとする態度が見られる。 |

be English Logic and Expression II Smart

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてあります。授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目をお使いください。
 ※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-B/D)のような形で表しています。参考にお使いください。□

LESSON 15 SDGs and Issues Facing the World

| | |
|-------------|--|
| 単元目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・英語らしい表現方法を正しく用いて表現することができる。 ・世界が抱える問題とSDGsについて話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解する姿勢がみられる。 |
|-------------|--|

| | | 話す（やり取り） | 話す（発表） | 書く | | |
|---------------|-----------|---|--|---|-----------|---|
| 知識・技能 | 目標 | <知識> 英語らしい表現方法の意味や働きについて理解している。(TASK-A) <技能> 英語らしい表現方法を用いて、日本で食料が足りていない人の数について、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A) | <知識> 英語らしい表現方法の意味や働きについて理解している。(TASK-D) <技能> 英語らしい表現方法を用いて、インターネットの不備による教育機会の制限について、話す技能を身につけている。(TASK-D) | <知識> 英語らしい表現方法の意味や働きについて理解している。(TASK-B) <技能> 英語らしい表現方法を用いて、食品廃棄物削減について、書く技能を身につけている。(TASK-B) | | |
| | a | 英語らしい表現方法を適切に用いて、日本で食料が足りていない人の数について、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。 | a | 英語らしい表現方法の表現を適切に用いて、インターネットの不備による教育機会の制限について、ほぼ正しい英語で話すことができる。 | a | 英語らしい表現方法を用いて、食品廃棄物削減について、ほぼ正しい英語で書くことができる。 |
| | b | 英語らしい表現方法を用いて、日本で食料が足りていない人の数について、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。 | b | 英語らしい表現方法の表現を適切に用いて、インターネットの不備による教育機会の制限について、ほぼ正しい英語で話すことができる。 | b | 英語らしい表現方法を用いて、食品廃棄物削減について、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。 |
| | c | 助けがあれば、英語らしい表現方法を用いて、日本で食料が足りていない人の数について、何とか英語で伝え合うことができる。 | c | 助けがあれば、英語らしい表現方法の表現を用いて、インターネットの不備による教育機会の制限について、何とか英語で話すことができる。 | c | 助けがあれば、英語らしい表現方法を用いて食品廃棄物削減について、何とか書くことができる。 |
| 思考・判断・表現 | 目標 | 問題解決のアイデアを、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。(SHARE) | 目標 | 問題解決のアイデアを、論理的に詳しく話すことができる。(SHARE) | 目標 | 社会問題と解決策について、論理的に詳しく書くことができる。(WRITE) |
| | a | 問題解決のアイデアを、論理的に詳しく話して伝え合うことができる。 | a | 問題解決のアイデアを、論理的に詳しく話すことができる。 | a | 社会問題と解決策について、論理的に詳しく書くことができる。 |
| | b | 問題解決のアイデアを、話して伝え合うことができる。 | b | 問題解決のアイデアを、話すことができる。 | b | 社会問題と解決策について、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。 |
| | c | 助けがあれば、問題解決のアイデアを、何とか話して伝え合うことができる。 | c | 助けがあれば、問題解決のアイデアを、話すことができる。 | c | 助けがあれば、社会問題と解決策について、何とか書くことができる。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 目標 | 問題解決のアイデアを、論理的に詳しく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE) | 目標 | 問題解決のアイデアを、論理的に詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(SHARE) | 目標 | 社会問題と解決策について、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(WRITE) |
| | a | 問題解決のアイデアを、ジェスチャーなどを交えたり相づちを打ったりしながら、自ら進んで論理的に伝え合う姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。 | a | 問題解決のアイデアを、自ら進んで論理的に詳しく話そうとする姿勢が見られる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。 | a | 社会問題と解決策について、自ら進んで論理的に詳しく書こうとする態度が見られる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。 |
| | b | 問題解決のアイデアを、伝え合う姿勢が見られる。 | b | 問題解決のアイデアを、話そうとする姿勢が見られる。 | b | 社会問題と解決策について、書こうとする態度が見られる。 |
| | c | 助けがあれば、問題解決のアイデアを、何とか伝え合う姿勢が見られる。 | c | 助けがあれば、問題解決のアイデアを、何とか話そうとする姿勢が見られる。 | c | 助けがあれば、社会問題と解決策について、何とか書こうとする態度が見られる。 |